



日刊便日... 郵便種三第... 発行所 平野町...

平町の豫算

經常部は増額 臨時部は減額

平町では既報の如く今十七日午後一時町會議事堂に於て昭和十二年豫算の内示會を開き青沼町長から大要の説明ありつたが豫算總額は四十六萬六千八百八十五圓で經常部三十三萬一千二百六圓 臨時部十五萬五千六百七十九圓 これを昨年十二月二十三日まで追加更生したる前年度豫算に對比せば經常部に於て七千三百四十四圓を増額するも臨時部に於て二萬五千五百七十圓を減額してゐるので總額は一萬八千二百三十四圓の減少である同町の本年度には新規事業の商業移轉改築費八萬圓ありながら斯る豫算面を見たものは第四校の新設を整理費(土蔵)のみに止めたのが主なる關係で計費方針には何等變るところなく公會堂新築の八萬圓も前年度からの繰越である爲に昨年度豫算と數字的の異状がない結果である

市制認可申請書の作製に着手する

平町書記數名平窪へ出張

平町の市制施行に合併する平窪村との交渉は昨報の如く協定書の交換で殆んど確定的となつた爲に主務大臣に認可申請する各種の統計資料その他諸件目につき今十七日平町から松本書記外三名の吏員を平窪村に派し同調査に着手したが各申請書は兩町村から出たもので諸般の現勢に互るものであり茲一、三日を要するであらうと

兩主任の出福

平窪の齋藤司法、三林待高兩主任は...

節婦表彰

石城郡鹿島村の上矢田字太郎作長瀬あき(六)並びに同村大字船立字八合草野やす(六)兩婦は節婦の勲章として去る十一月紀元の佳節に於て同村から表彰状に木杯を添えて表彰されたが兩婦共に共に死別後

農林省が計画する

九面と小濱の修港

石城郡勿來町の九面港と植田町の小濱港は地元は勿論過ぐる縣會に於ても改修の希望があり縣當局でもまた漁業振興の爲め右の施行を目論見られてゐるところであるが該計畫に關して農林省では吉武囑託技師を派し去る十三日から三日間に亘り小林平土木監督所長同行九面は横山勿來町助役、小松縣議、小濱は古川植田町長並びに同地漁業組合長等の出迎ひと案内で施工上のつき事務的及び財政並びに漁業の狀態を調査されたが吉武技師の語るところは左記の如くであつた

座講識常

ラキジャリイは豪奢又は贅澤の意だラクジュリイも一意、ラクジュリイは豪奢なる奢移なる贅澤なる謂で東洋の贅澤と云つた様なことをオリエンタルラキジャリイと云ふ、父兄懇親會を開催した

小學校の學藝會

小名濱町小學校では昨十六日午前十時から學藝會を開き後父兄の懇親會を催した又石城郡警備高等學校では今十七日午前九時から同じく學藝會並に就業の同試験を行ふと

運轉手の試験

本縣自動車運轉並に就業免許試験は來る三月二日から五日まで福島市外渡利村の農園に於て學科試験を行ひ引續いて六日は午前九時から福島市公會堂で運轉手實地及び就業の同試験を行ふと

林野保護の組合總會

八十五名を表彰

平野管下の林野保護組合では今十七日午前十時同署會議室に組合長會を開き引續いて總會を催し庶務會計の報告後柴田署長の訓示終つて

石双乾藪販賣利用

組合聯合會設立協議

産業組合石城郡部會では昨十六日午前十時平町部會樓上乾藪販賣利用聯合會創設に關して委員十名同協議の結果果大具体案を決定したのでより先き双藪から聯合を希望されてゐるに對し今十七日午後四時五十分平野署で部會代表の木田主事、郡警備組合長酒井次氏富岡に向ひ双藪郡の代表山田六郎氏に交渉したのである

蘭に就て

民族の推移考察

支那話二題 筆者は茲に支那に於ける説話を擧る

一美人(たがい物語叙事要素としてヒロインは美女に決まつてゐる)一國一城の主上に依り懸想するところとなり、迷麟を得流刑に處せられ

傳三郎 草野徳重 草野茂 晴▲下小川杉本百吉 草野一恵 松本信治 草野定信 星野高夫▲上小川白井弘司 波部武司 鈴木忠一▲江田佐藤保 草野永雄▲横川、内倉 田久利一 草野政春 ▲合戸合津喜一 松崎清次 吉田誠一郎▲渡戸篤内政治 草野萬吉 青木小一郎▲下 永井鈴木捨吉 藁谷金太 ▲阿部千代治▲大和、樋口甚次 ▲片寄彦六▲榊小屋柏原 ▲高野、高萩吉次 ▲遠藤 徳四郎 吉田吉嗣▲上永井 藁谷久光 ▲藁谷廣太▲鹿島 江尻太 國部源一 高萩正

一 小野藤一 荒川光太郎 ▲平窪、太田良知 吉田甚一 鈴木利一 江尻茂 波部安明 高萩盛男 相田榮三郎 鈴木寛▲神谷、箱崎 惣治 樋口八十太郎 中野 勝衛 金成勳▲木村保壽 管波涉 片寄爲義▲夏井、加藤春吉 箱崎善昌 小泉 保 鶴沼岩多 小林治右工 門 田中龜吉 鈴木助次郎 ▲好間、金成義雄 齊藤勳 大平泰平 木田時彌▲飯野 江尻利重 永井幸太 澤田 官彌 鹽要太郎 山田安正 山野邊久次郎 鈴木正英 鈴木一男(以上)

氏を相談の相手に推し所記の計畫を進める模様であるが双藪の意向が若し是れ等の出資を厭ふ場合は聯合に遠慮を請ふものゝ如くである

醬油泥の部落積 立集金を着服 石城郡内郷村の小島生れ當時 双藪郡刈野村大字寄原居住の 吉田庄司(四)等は去る十四日夜 八時頃同地吉田孝七方の倉庫 に忍び醬油五升を窃取し檢舉 取調への結果尙ほ同部落の積 立金の集金方を吉田孝七から 依頼されたと稱して金五十圓 餘を集金着服してゐたことも 判明した

指名手配の賊 秋田縣山本郡八盛村生れ漁夫 村上喜之助(五)は茨城縣下を 荒し關係地から指名手配中で あつたが昨十五日夜石城郡内 郷村の邊に居る實母方に立寄 つたところを平野署に取押へら れた

今晚も明日も北西の風、晴 が吹いてゐた。

(女)の意地と云ふものを一 女(女)の操と云ふものを一私は 私の体を以て死を以て世に示 す時機が来たの、お父さんや お母さんの恩愛のものも育れ て来た私は此世から喪失しよ うとも、新しい宇宙と共に久 遠に生命を宿す私の誕生とし ての門出、泪なんて不吉い 笑つて前途を祝福してやつて 下され、せめてものなぐさみ (一)



今晩も明日も北西の風、晴

庭業方

桃の栽培 (三)

活潑の後は盛り土が平らかになるまで除くのである。栽植には前後左右から見透して整然とするのがよい。桃は大体に於て自家親和性を具備してゐるから混植を必ずしも必要とはしないが品種により花粉の生成不充分のものもあるから混植する方が安全である。殊に白桃、金桃などに混植を必要とする。

六、整枝剪定
 (一)結果の習性、桃は前年生の新梢のみ開花結實するものである。結果枝には長中短の種々のものがあるが頂芽は必ず葉芽である。故に花芽は必ず腋芽である。桃は一葉腋に一芽のもの二芽、三芽のものがある。稀には四芽のものもある。一芽の場合は葉芽のみか花芽のみである。二芽以上は葉芽と花芽とが共にあるのが普通であるが時には花芽のみがある。花芽のめからなる單芽性結果枝は除みし複芽性結果枝を残すべきである。結果枝として最高のものは一尺乃至一尺五寸ぐらゐの直立しない結果枝である。二尺以上の長果枝でも水平に近いものは果實を着けることが出来る。直立した枝は光線とさへぎり下枝を弱めると共に結果したものは多く落果し易い。花芽が分化し始めるのは早いものは八月上旬であり遅いものは八月下旬になる頃

(二)製枝法、桃の製枝法として最も廣く行はれ且つ實用なものには盃形製枝法である

るが経済的製枝法は外國の法をそのまゝ入れた盃形製枝法から相當に自由な方法に變化してゐるのである。

一般印刷物も
 郵引受致します
 新いむき新聞社
 印刷部

牛も豚も優良品の自慢

三三三屋

肉の御
 用命は

婦看護
 看護婦の末
 平看護婦
 電話三〇七

町 紺 屋 町
藤沼醫院
 電 五 〇 七 番

産科 婦人科 院長 木村寅次郎
 外科 醫學博士 内木宗八
 藥局 藥劑師 大岩俊雄

平町新川町九一
 入院隨意
 病室完備
木村病院
 電話一六四番

集募徒生

一、本科五十名 二、裁縫専修科百名
 三、専攻科三十名 四、師範科二十名
 五、本科 裁縫専修科第二學年補缺若干名
 六、洋裁科若干名

文部大臣 認可 **藤田女學校**
 一、願書受付三月三十日マデ
 二、詳細ハ學則其他請求ノ事
 平町田町(電話三二二八)

目科療診

一、齒科 一般
 保存科、補綴科、齒齲工科、
 齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
 一、口腔 外科
 一、レントゲン科

中野齒科醫院
 院長 日本齒科 中野 惠次
 日本齒科 西川 誠
 醫學士 西川 誠
 平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

入院應需(自炊の便あり)
明雲堂眼科醫院 (電話 六六九)
 田町(平三丁目裏川岸通)
 『看護見習募集』

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
 平町大町 電話五九一番

外科 一般 内臓外科
 レントゲン科 泌尿器科

北川外科

(血液検査毎日)
 平町新川町二七(電話四六四)
 インテモ 醫學博士 北川芳夫
 入院デキマス 技師 小林良次

レストラン **サロン**
 電話三五二

サロんで エピ料理を
 始めました
 サロンベニエ(天ぷら)
 三十錢
 ペニエライヌ(天井)
 三十五錢
 ごうぞ御試食を

諸毒下しの大妙藥
安流丸
 平町五丁目角
 寺町山野邊藥局

移轉お知らせ
 今般スタチ才擴張の爲め左記
 に移轉仕り候間從前通り御引
 立の程偏にお願ひ申上候
 平町田町五番地(三丁目北裏通り)
齋藤寫眞館
 電話(呼)二七一番

内科、小兒科
 外科、花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科
 平町田町 電話五二三番
高久病院
 院長 醫學士 高久忠

産科、婦人科
根本醫院
 平町南町五二 電話三四番
 入院隨時 根本 貞次郎
 手術室完備 根本 貞雄

和洋鋼鐵、金物 屋
店商屋釜
 九九・九電

生徒募集
 躍進日本の女性に 婦人の職業として
 産婆看護婦をお奨め致します
 それには成績の最もよいと定評のある
平南町 産婆看護婦學校
 申込み成るべく早く
 ◎ 新學期の開始は四月八日より
平産婆看護婦學校
 校長 清野キヨ 電話三〇七番